

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校徳島穴吹カレッジ
設置者名	学校法人穴吹学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	ゲームクリエイター	夜・通信	241	240	
	情報システム	夜・通信	240	240	
	グラフィックデザイン	夜・通信	752	160	
医療専門課程	歯科衛生士	夜・通信	240	240	
衛生専門課程	美容	夜・通信	1708	160	
	パティシエ・ベーカリー	夜・通信	1500	160	
	高度調理	夜・通信	1620	160	
教育・社会福祉専門課程	こども・社会福祉	夜・通信	240	240	
	こども保育	夜・通信	225	160	
	介護福祉	夜・通信	180	160	
商業実務専門課程	情報ビジネス	夜・通信	210	160	
	医療事務	夜・通信	210	160	
	マンガ・イラスト	夜・通信	1410	160	
文化・教養専門課程	ブライダル・ホテル	夜・通信	450	160	
	行政ビジネス	夜・通信		160	○

	公務員	夜・通信		80	○
<p>(備考)</p> <p>ゲームクリエイター学科の今年度2年、3年は旧課程のデジタルクリエイト学科 情報システム学科の今年度2年、3年は旧課程 グラフィックデザイン学科の今年度2年は旧課程 歯科衛生士学科の今年度2年、3年は旧課程 美容学科の今年度2年は旧課程 パティシエ・ベーカリー学科の今年度2年は旧課程 高度調理学科の今年度2年は旧課程 こども保育学科の今年度2年は旧課程 情報ビジネス学科の今年度2年は旧課程 医療事務学科の今年度2年は旧課程 マンガ・イラスト学科の今年度2年は旧課程 ブライダル・ホテル学科の今年度2年は旧課程のブライダル・ファッション学科 行政ビジネス学科の今年度2年は旧課程</p>					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて公開 <http://www.anabuki-college.ac.jp/information/info.php>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 公務員学科、行政ビジネス学科

(困難である理由)

本学科は、国家公務員（高卒者試験）・地方公務員（初級）の採用試験合格を目指し、一般知識・一般知能の科目を中心に指導しているため、実務経験のある教員による指導が困難です。

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校徳島穴吹カレッジ
設置者名	学校法人穴吹学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて公表 http://www.anabuki-college.ac.jp/information/info.php 4. 役員・教職員 ⇒ 役員一覧
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	学校法人(他法人) 総務部長	令和2年6月1日 ～ 令和4年5月31日	企画・調整
非常勤	歯科医師	令和2年6月1日 ～ 令和4年5月31日	企画・調整 教育課程編成
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校徳島穴吹カレッジ
設置者名	学校法人穴吹学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) カリキュラム編成・授業科目の内容・方法の充実改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置し、業界団体・企業等からの意見・要望を伺う。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成、それを校長が決定し、4月に公開する。</p> <p>※シラバスの主な記載項目</p> <p>(1)科目名 その授業の科目名を記載します</p> <p>(2)学科/学年 授業を行う学科名および学年を記載します</p> <p>(3)年度/時期 授業を行う年度および時期(前期・後期)を記載します 単位制の場合は標準履修年次を記載します</p> <p>(4)授業形態 講義もしくは演習、実習等授業形態について記載します</p> <p>(5)授業の回数 授業を行う回数(コマ数)を記載します</p> <p>(6)単位数(時間数) 学則に記載している時間数を単位換算したものを記載します 講義: 15時間を1単位とする 演習、実習: 30時間を1単位とする 時間数は90分授業の場合、1コマ=2単位時間</p> <p>(7)必須・選択 必須授業もしくは選択授業について記載します</p> <p>(8)授業担当者 授業を担当する教員名を記載します 複数の教員で担当する場合は全員の氏名を記載します また、実務経験がある教員の場合はその旨を記載します</p> <p>(9)授業の目的・ねらい 授業の趣旨を記載します 授業を行うのは教員なので、教員を主語として具体的に記入します また、実務経験がある教員が授業を行う場合は、実務経験をどのように活かして授業を行うかを記載します</p>
--

<p>(10) 授業終了時の達成課題（行動目標） 授業終了時点において学生が修得している必要がある学修成果について記載します</p> <p>(11) 授業の内容 授業の各回におけるテーマおよび内容について具体的に記入します ※学生の理解度・実態に応じてやむを得ず変更する可能性もあります</p> <p>(12) 準備学習 授業に臨む前に行っておくべき内容を記載します</p> <p>(13) 使用テキスト 使用するテキストや参考書等を記載します</p> <p>(14) 単位の認定方法及び基準（試験等の評価方法） 評価方法について記載します また、評価基準についてそれぞれの項目の評価割合を記載します</p>	
授業計画書の公表方法	HPにて公開 http://www.anabuki-college.ac.jp/information/info.php
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) (総合評価の評定基準) 各授業科目の総合評価は、シラバスに記載された基準に従い、定期試験の成績と学習状況並びに出欠状況、さらに課題学習等を勘案し、A～Dの4段階にて評定する。評定A, B, Cは合格で、Dは不合格である。 2 前項の4段階の評定基準は、次のとおりとする。 A：科目に対する理解及び日常の学習状況等が著しく優秀な者（80点以上） B：科目に対する理解及び日常の学習状況等が良好な者（70点以上79点以下） C：科目に対する理解及び日常の学習状況等がやや劣る者（60点以上69点以下） D：科目に対する理解及び日常の学習状況等が著しく劣る者（59点以下） 3 各授業科目の総合評価に当たっては、当該授業科目担当教員等の意見を勘案し、合否を判定する。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) (成績評価に係る指標の算定方法) 学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100点満点）し、合計した上でその平均点を算出する。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	HPにて公開 http://www.anabuki-college.ac.jp/information/info.php

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>(卒業)</p> <p>原則として修業年限内に履修すべき全科目の単位を認定されている者に対し、校長は卒業を認定する</p> <p>2 当該学年における欠席時間数が、出席すべき時間数の15%以上欠席した者は卒業できない</p> <p>3 相当の事由がある場合で、卒業判定会議において認められたとき卒業する</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>HPにて公開 http://www.anabuki-college.ac.jp/information/info.php</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校徳島穴吹カレッジ
設置者名	学校法人穴吹学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.anabuki-college.ac.jp/information/info.php
収支計算書又は損益計算書	http://www.anabuki-college.ac.jp/information/info.php
財産目録	http://www.anabuki-college.ac.jp/information/info.php
事業報告書	http://www.anabuki-college.ac.jp/information/info.php
監事による監査報告書	http://www.anabuki-college.ac.jp/information/info.php

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門	ゲームクリエイター	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
3年		2436 単位時間/単位	440 単位時 間/単位	166 単位 時間/単位	1830 単位 時間/単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			2436 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50 人		39 人	0 人	9 人	4 人	13 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）カリキュラム編成・授業科目の内容・方法の充実改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置し、業界団体・企業等からの意見・要望を伺う。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成、それを校長が決定する
成績評価の基準・方法
（概要）学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100 点満点）し、合計した上でその平均点を算出する
卒業・進級の認定基準
（概要） 1 原則として修業年限内に履修すべき全科目の単位を認定されている者に対し、校長は卒業を認定する 2 当該学年における欠席時間数が、出席すべき時間数の 15% 以上欠席した者は卒業できない 3 相当の事由がある場合で、卒業判定会議において認められたとき卒業する
学修支援等
（概要）担任による定期的なガイダンスや状況により他の教員による臨時ガイダンスを学生相談室や進路指導室等を利用して実施。必要に応じて保護者への連絡・相談・連携を図っている。学習についても小集団・個別に補講や個人支援を実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
10 人 (100%)	0 人 (0%)	9 人 (90%)	1 人 (10%)
（主な就職、業界等） プログラマー、CG デザイナー等			

(就職指導内容) 担任、就職専門スタッフによる個別ガイダンス、面接指導等
(主な学修成果(資格・検定等)) CGクリエイター検定、C言語プログラミング能力認定試験等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
38人	2人	5.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 所属長を交えたガイダンスや外部カウンセラーによるカウンセリング制度導入、民間の学費サポート制度紹介など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門	情報システム	○	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2414 単位時間/単位	970 単位時 間/単位	754 単位時 間/単位	690 単位時 間/単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			2414 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
50人	43人	0人	3人	6人	9人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）カリキュラム編成・授業科目の内容・方法の充実改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置し、業界団体・企業等からの意見・要望を伺う。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成、それを校長が決定する
成績評価の基準・方法
（概要）学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100点満点）し、合計した上でその平均点を算出する
卒業・進級の認定基準
（概要） 1 原則として修業年限内に履修すべき全科目の単位を認定されている者に対し、校長は卒業を認定する 2 当該学年における欠席時間数が、出席すべき時間数の15%以上欠席した者は卒業できない 3 相当の事由がある場合で、卒業判定会議において認められたとき卒業する
学修支援等
（概要）担任による定期的なガイダンスや状況により他の教員による臨時ガイダンスを学生相談室や進路指導室等を利用して実施。必要に応じて保護者への連絡・相談・連携を図っている。学習についても小集団・個別に補講や個人支援を実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
13人 (100%)	0人 (0%)	13人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） プログラマ、システムエンジニア等			
（就職指導内容） 担任、就職専門スタッフによる個別ガイダンス、面接指導等			

(主な学修成果(資格・検定等)) 基本情報技術者試験、情報活用試験1級等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
43人	1人	2.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 所属長を交えたガイダンスや外部カウンセラーによるカウンセリング制度導入、民間の学費サポート制度紹介など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門	グラフィックデザイン	○	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1716 単位時間/単位	152 単位時 間/単位	1564 単位 時間/単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			1716 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
30人	23人	0人	4人	6人	10人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）カリキュラム編成・授業科目の内容・方法の充実改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置し、業界団体・企業等からの意見・要望を伺う。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成、それを校長が決定する
成績評価の基準・方法
（概要）学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100点満点）し、合計した上でその平均点を算出する
卒業・進級の認定基準
（概要） 1 原則として修業年限内に履修すべき全科目の単位を認定されている者に対し、校長は卒業を認定する 2 当該学年における欠席時間数が、出席すべき時間数の15%以上欠席した者は卒業できない 3 相当の事由がある場合で、卒業判定会議において認められたとき卒業する
学修支援等
（概要）担任による定期的なガイダンスや状況により他の教員による臨時ガイダンスを学生相談室や進路指導室等を利用して実施。必要に応じて保護者への連絡・相談・連携を図っている。学習についても小集団・個別に補講や個人支援を実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6人 (100%)	0人 (0%)	6人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） グラフィックデザイナー、広告制作等			
（就職指導内容） 担任、就職専門スタッフによる個別ガイダンス、面接指導等			

(主な学修成果(資格・検定等)) 色彩検定等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15人	2人	13.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 所属長を交えたガイダンスや外部カウンセラーによるカウンセリング制度導入、民間の学費サポート制度紹介など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門	歯科衛生士	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2610 単位時間/単位	825 単位時 間/単位	60 単位時 間/単位	1725 単位 時間/単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			2610 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		41 人	0 人	10 人	22 人	32 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）カリキュラム編成・授業科目の内容・方法の充実改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置し、業界団体・企業等からの意見・要望を伺う。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成、それを校長が決定する
成績評価の基準・方法
（概要）学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100 点満点）し、合計した上でその平均点を算出する
卒業・進級の認定基準
（概要） 1 原則として修業年限内に履修すべき全科目の単位を認定されている者に対し、校長は卒業を認定する 2 当該学年における欠席時間数が、出席すべき時間数の 15%以上欠席した者は卒業できない 3 相当の事由がある場合で、卒業判定会議において認められたとき卒業する
学修支援等
（概要）担任による定期的なガイダンスや状況により他の教員による臨時ガイダンスを学生相談室や進路指導室等を利用して実施。必要に応じて保護者への連絡・相談・連携を図っている。学習についても小集団・個別に補講や個人支援を実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
17 人 (100%)	0 人 (0%)	17 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 歯科医院等			
（就職指導内容） 担任、就職専門スタッフによる個別ガイダンス、面接指導等			

(主な学修成果(資格・検定等)) 歯科衛生士国家試験、歯科医療事務管理士など
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
50人	1人	2%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 所属長を交えたガイダンスや外部カウンセラーによるカウンセリング制度導入、民間の学費サポート制度紹介など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門	美容	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2014 単位時間/単位	588 単位時 間/単位	80 単位時 間/単位	1346 単位 時間/単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			2014 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70人		63人	0人	5人	6人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）カリキュラム編成・授業科目の内容・方法の充実改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置し、業界団体・企業等からの意見・要望を伺う。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成、それを校長が決定する
成績評価の基準・方法
（概要）学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100点満点）し、合計した上でその平均点を算出する
卒業・進級の認定基準
（概要） 1 原則として修業年限内に履修すべき全科目の単位を認定されている者に対し、校長は卒業を認定する 2 当該学年における欠席時間数が、出席すべき時間数の15%以上欠席した者は卒業できない 3 相当の事由がある場合で、卒業判定会議において認められたとき卒業する
学修支援等
（概要）担任による定期的なガイダンスや状況により他の教員による臨時ガイダンスを学生相談室や進路指導室等を利用して実施。必要に応じて保護者への連絡・相談・連携を図っている。学習についても小集団・個別に補講や個人支援を実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18人 （100%）	0人 （0%）	18人 （100%）	0人 （0%）
（主な就職、業界等） 美容師等			
（就職指導内容） 担任、就職専門スタッフによる個別ガイダンス、面接指導等			

(主な学修成果(資格・検定等)) 美容師国家資格等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
53人	1人	1.9%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 所属長を交えたガイダンスや外部カウンセラーによるカウンセリング制度導入、民間の学費サポート制度紹介など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
衛生	衛生専門	パティシエ・ベーカリー	○	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1760 単位時間／単位	766 単位時 間/単位	94 単位時 間/単位	900 単位時 間/単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			1760 単位時間／単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
50人	28人	0人	9人	17人	26人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）カリキュラム編成・授業科目の内容・方法の充実改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置し、業界団体・企業等からの意見・要望を伺う。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成、それを校長が決定する
成績評価の基準・方法
（概要）学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100点満点）し、合計した上でその平均点を算出する
卒業・進級の認定基準
（概要） 1 原則として修業年限内に履修すべき全科目の単位を認定されている者に対し、校長は卒業を認定する 2 当該学年における欠席時間数が、出席すべき時間数の15%以上欠席した者は卒業できない 3 相当の事由がある場合で、卒業判定会議において認められたとき卒業する
学修支援等
（概要）担任による定期的なガイダンスや状況により他の教員による臨時ガイダンスを学生相談室や進路指導室等を利用して実施。必要に応じて保護者への連絡・相談・連携を図っている。学習についても小集団・個別に補講や個人支援を実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19人 (100%)	0人 (0%)	19人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） パティシエ、菓子製造職等			
（就職指導内容） 担任、就職専門スタッフによる個別ガイダンス、面接指導等			

(主な学修成果(資格・検定等)) 製菓衛生師、食生活アドバイザー等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
30人	2人	6.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 所属長を交えたガイダンスや外部カウンセラーによるカウンセリング制度導入、民間の学費サポート制度紹介など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門	高度調理	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年	1790 単位時間/単位	1790 単位時間/単位	706 単位時 間/単位	34 単位時 間/単位	1050 単位 時間/単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			1790 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		30人	0人	3人	8人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）カリキュラム編成・授業科目の内容・方法の充実改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置し、業界団体・企業等からの意見・要望を伺う。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成、それを校長が決定する
成績評価の基準・方法
（概要）学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100点満点）し、合計した上でその平均点を算出する
卒業・進級の認定基準
（概要） 1 原則として修業年限内に履修すべき全科目の単位を認定されている者に対し、校長は卒業を認定する 2 当該学年における欠席時間数が、出席すべき時間数の15%以上欠席した者は卒業できない 3 相当の事由がある場合で、卒業判定会議において認められたとき卒業する
学修支援等
（概要）担任による定期的なガイダンスや状況により他の教員による臨時ガイダンスを学生相談室や進路指導室等を利用して実施。必要に応じて保護者への連絡・相談・連携を図っている。学習についても小集団・個別に補講や個人支援を実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14人 (100%)	0人 (0%)	14人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等）ホテル、給食業、料亭など			
（就職指導内容） 担任、就職専門スタッフによる個別ガイダンス、面接指導等			

(主な学修成果(資格・検定等)) 調理師免許等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
31人	1人	3.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 所属長を交えたガイダンスや外部カウンセラーによるカウンセリング制度導入、民間の学費サポート制度紹介など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉専門	こども・社会福祉	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2657 単位時間/単位	225 単位時 間/単位	301 単位時 間/単位	450 単位時 間/単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			976 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		4人	0人	3人	10人	13人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）カリキュラム編成・授業科目の内容・方法の充実改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置し、業界団体・企業等からの意見・要望を伺う。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成、それを校長が決定する
成績評価の基準・方法
（概要）学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100点満点）し、合計した上でその平均点を算出する
卒業・進級の認定基準
（概要） 1 原則として修業年限内に履修すべき全科目の単位を認定されている者に対し、校長は卒業を認定する 2 当該学年における欠席時間数が、出席すべき時間数の15%以上欠席した者は卒業できない 3 相当の事由がある場合で、卒業判定会議において認められたとき卒業する
学修支援等
（概要）担任による定期的なガイダンスや状況により他の教員による臨時ガイダンスを学生相談室や進路指導室等を利用して実施。必要に応じて保護者への連絡・相談・連携を図っている。学習についても小集団・個別に補講や個人支援を実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
11人 (100%)	0人 (0%)	11人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 認定こども園、保育園等			
（就職指導内容） 担任、就職専門スタッフによる個別ガイダンス、面接指導等			

(主な学修成果(資格・検定等)) 保育士、幼稚園教諭2種等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
17人	1人	5.9%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 所属長を交えたガイダンスや外部カウンセラーによるカウンセリング制度導入、民間の学費サポート制度紹介など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉専門	こども保育	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1910 単位時間／単位	540 単位時 間/単位	845 単位時 間/単位	450 単位時 間/単位	0 単位時間 /単位	75 単位時 間/単位
			1910 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50人		24人	0人	6人	12人	18人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）カリキュラム編成・授業科目の内容・方法の充実改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置し、業界団体・企業等からの意見・要望を伺う。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成、それを校長が決定する
成績評価の基準・方法
（概要）学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100点満点）し、合計した上でその平均点を算出する
卒業・進級の認定基準
（概要） 1 原則として修業年限内に履修すべき全科目の単位を認定されている者に対し、校長は卒業を認定する 2 当該学年における欠席時間数が、出席すべき時間数の15%以上欠席した者は卒業できない 3 相当の事由がある場合で、卒業判定会議において認められたとき卒業する
学修支援等
（概要）担任による定期的なガイダンスや状況により他の教員による臨時ガイダンスを学生相談室や進路指導室等を利用して実施。必要に応じて保護者への連絡・相談・連携を図っている。学習についても小集団・個別に補講や個人支援を実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14人 (100%)	0人 (0%)	14人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 認定こども園、保育園等			
（就職指導内容） 担任、就職専門スタッフによる個別ガイダンス、面接指導等			

(主な学修成果(資格・検定等)) 保育士、幼稚園教諭2種等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 所属長を交えたガイダンスや外部カウンセラーによるカウンセリング制度導入、民間の学費サポート制度紹介など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉専門	介護福祉	—	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1871 単位時間／単位	815 単位時 間/単位	600 単位時 間/単位	456 単位時 間/単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			1871 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		0人	0人	3人	5人	8人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）カリキュラム編成・授業科目の内容・方法の充実改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置し、業界団体・企業等からの意見・要望を伺う。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成、それを校長が決定する
成績評価の基準・方法
（概要）学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100点満点）し、合計した上でその平均点を算出する
卒業・進級の認定基準
（概要） 1 原則として修業年限内に履修すべき全科目の単位を認定されている者に対し、校長は卒業を認定する 2 当該学年における欠席時間数が、出席すべき時間数の15%以上欠席した者は卒業できない 3 相当の事由がある場合で、卒業判定会議において認められたとき卒業する
学修支援等
（概要）担任による定期的なガイダンスや状況により他の教員による臨時ガイダンスを学生相談室や進路指導室等を利用して実施。必要に応じて保護者への連絡・相談・連携を図っている。学習についても小集団・個別に補講や個人支援を実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 （%）	0人 （%）	0人 （%）	0人 （%）
（主な就職、業界等）介護施設			
（就職指導内容） 担任、就職専門スタッフによる個別ガイダンス、面接指導等			

(主な学修成果(資格・検定等)) 介護福祉士
(備考) (任意記載事項) 今年度開設した学科であり、卒業実績がない。就職先は将来的に考え得る業種を記入している。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	-%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 所属長を交えたガイダンスや外部カウンセラーによるカウンセリング制度導入、民間の学費サポート制度紹介など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門	情報ビジネス	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1700 単位時間／単位	796 単位時 間/単位	274 単位時 間/単位	630 単位時 間/単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			1700 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		36人	0人	3人	6人	9人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）カリキュラム編成・授業科目の内容・方法の充実改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置し、業界団体・企業等からの意見・要望を伺う。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成、それを校長が決定する
成績評価の基準・方法
（概要）学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100点満点）し、合計した上でその平均点を算出する
卒業・進級の認定基準
（概要） 1 原則として修業年限内に履修すべき全科目の単位を認定されている者に対し、校長は卒業を認定する 2 当該学年における欠席時間数が、出席すべき時間数の15%以上欠席した者は卒業できない 3 相当の事由がある場合で、卒業判定会議において認められたとき卒業する
学修支援等
（概要）担任による定期的なガイダンスや状況により他の教員による臨時ガイダンスを学生相談室や進路指導室等を利用して実施。必要に応じて保護者への連絡・相談・連携を図っている。学習についても小集団・個別に補講や個人支援を実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14人 (100%)	0人 (0%)	14人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 事務、経理、営業等			
（就職指導内容） 担任、就職専門スタッフによる個別ガイダンス、面接指導等			

(主な学修成果(資格・検定等)) 日商簿記3級、ビジネス文書検定、Webクリエイター検定等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
34人	2人	5.9%
(中途退学の主な理由) 進路変更など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 所属長を交えたガイダンスや外部カウンセラーによるカウンセリング制度導入、民間の学費サポート制度紹介など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門	医療事務	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1750 単位時間/単位	1160 単位 時間/単位	410 単位時 間/単位	180 単位時 間/単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			1750 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
50人	44人	0人	7人	4人	11人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）カリキュラム編成・授業科目の内容・方法の充実改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置し、業界団体・企業等からの意見・要望を伺う。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成、それを校長が決定する
成績評価の基準・方法
（概要）学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100点満点）し、合計した上でその平均点を算出する
卒業・進級の認定基準
（概要） 1 原則として修業年限内に履修すべき全科目の単位を認定されている者に対し、校長は卒業を認定する 2 当該学年における欠席時間数が、出席すべき時間数の15%以上欠席した者は卒業できない 3 相当の事由がある場合で、卒業判定会議において認められたとき卒業する
学修支援等
（概要）担任による定期的なガイダンスや状況により他の教員による臨時ガイダンスを学生相談室や進路指導室等を利用して実施。必要に応じて保護者への連絡・相談・連携を図っている。学習についても小集団・個別に補講や個人支援を実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
24人 (100%)	0人 (0%)	24人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 病院、医院、診療所等			
（就職指導内容） 担任、就職専門スタッフによる個別ガイダンス、面接指導等			

(主な学修成果(資格・検定等)) 医療事務管理士、医療事務技能審査試験等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
46人	2人	4.3%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 所属長を交えたガイダンスや外部カウンセラーによるカウンセリング制度導入、民間の学費サポート制度紹介など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門	マンガ・イラスト	○	－		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1716 単位時間／単位	76 単位時 間/単位	1640 単位 時間/単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			1716 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		30人	0人	2人	7人	9人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）カリキュラム編成・授業科目の内容・方法の充実改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置し、業界団体・企業等からの意見・要望を伺う。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成、それを校長が決定する
成績評価の基準・方法
（概要）学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100点満点）し、合計した上でその平均点を算出する
卒業・進級の認定基準
（概要） 1 原則として修業年限内に履修すべき全科目の単位を認定されている者に対し、校長は卒業を認定する 2 当該学年における欠席時間数が、出席すべき時間数の15%以上欠席した者は卒業できない 3 相当の事由がある場合で、卒業判定会議において認められたとき卒業する
学修支援等
（概要）担任による定期的なガイダンスや状況により他の教員による臨時ガイダンスを学生相談室や進路指導室等を利用して実施。必要に応じて保護者への連絡・相談・連携を図っている。学習についても小集団・個別に補講や個人支援を実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8人 (100%)	0人 (0%)	8人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 広告制作、販売職等			
（就職指導内容） 担任、就職専門スタッフによる個別ガイダンス、面接指導等			

(主な学修成果(資格・検定等)) 色彩検定等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
23人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 所属長を交えたガイダンスや外部カウンセラーによるカウンセリング制度導入、民間の学費サポート制度紹介など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門	ブライダル・ホテル	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1716 単位時間／単位	722 単位時 間/単位	754 単位時 間/単位	240 単位時 間/単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			1716 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		20人	0人	6人	8人	14人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）カリキュラム編成・授業科目の内容・方法の充実改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置し、業界団体・企業等からの意見・要望を伺う。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成、それを校長が決定する
成績評価の基準・方法
（概要）学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100点満点）し、合計した上でその平均点を算出する
卒業・進級の認定基準
（概要） 1 原則として修業年限内に履修すべき全科目の単位を認定されている者に対し、校長は卒業を認定する 2 当該学年における欠席時間数が、出席すべき時間数の15%以上欠席した者は卒業できない 3 相当の事由がある場合で、卒業判定会議において認められたとき卒業する
学修支援等
（概要）担任による定期的なガイダンスや状況により他の教員による臨時ガイダンスを学生相談室や進路指導室等を利用して実施。必要に応じて保護者への連絡・相談・連携を図っている。学習についても小集団・個別に補講や個人支援を実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8人 (100%)	0人 (0%)	8人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） ウェディングプランナー等			
（就職指導内容） 担任、就職専門スタッフによる個別ガイダンス、面接指導等			

(主な学修成果(資格・検定等)) アシスタント・ウェディング・プランナー検定、サービス接客検定等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
17人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 所属長を交えたガイダンスや外部カウンセラーによるカウンセリング制度導入、民間の学費サポート制度紹介など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養専門	行政ビジネス	○	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1714 単位時間／単位	864 単位時 間/単位	762 単位時 間/単位	88 単位時 間/単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			1714 単位時間／単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	49人	0人	5人	2人	7人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）カリキュラム編成・授業科目の内容・方法の充実改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置し、業界団体・企業等からの意見・要望を伺う。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成、それを校長が決定する
成績評価の基準・方法
（概要）学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100点満点）し、合計した上でその平均点を算出する
卒業・進級の認定基準
（概要） 1 原則として修業年限内に履修すべき全科目の単位を認定されている者に対し、校長は卒業を認定する 2 当該学年における欠席時間数が、出席すべき時間数の15%以上欠席した者は卒業できない 3 相当の事由がある場合で、卒業判定会議において認められたとき卒業する
学修支援等
（概要）担任による定期的なガイダンスや状況により他の教員による臨時ガイダンスを学生相談室や進路指導室等を利用して実施。必要に応じて保護者への連絡・相談・連携を図っている。学習についても小集団・個別に補講や個人支援を実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
23人 (100%)	0人 (0%)	23人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 公務員、一般事務等			
（就職指導内容） 担任、就職専門スタッフによる個別ガイダンス、面接指導等			

(主な学修成果(資格・検定等)) 電卓検定等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
54人	2人	3.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 所属長を交えたガイダンスや外部カウンセラーによるカウンセリング制度導入、民間の学費サポート制度紹介など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養専門	公務員	—	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼間	806 単位時間／単位	390 単位時 間/単位	384 単位時 間/単位	32 単位時 間/単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			806 単位時間／単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
15人	5人	0人	4人	1人	5人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）カリキュラム編成・授業科目の内容・方法の充実改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置し、業界団体・企業等からの意見・要望を伺う。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成、それを校長が決定する
成績評価の基準・方法
（概要）学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100点満点）し、合計した上でその平均点を算出する
卒業・進級の認定基準
（概要） 1 原則として修業年限内に履修すべき全科目の単位を認定されている者に対し、校長は卒業を認定する 2 当該学年における欠席時間数が、出席すべき時間数の15%以上欠席した者は卒業できない 3 相当の事由がある場合で、卒業判定会議において認められたとき卒業する
学修支援等
（概要）担任による定期的なガイダンスや状況により他の教員による臨時ガイダンスを学生相談室や進路指導室等を利用して実施。必要に応じて保護者への連絡・相談・連携を図っている。学習についても小集団・個別に補講や個人支援を実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
12人 (100%)	0人 (0%)	12人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 公務員、一般事務等			
（就職指導内容） 担任、就職専門スタッフによる個別ガイダンス、面接指導等			

(主な学修成果(資格・検定等)) 電卓検定等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
12人	1人	8.3%
(中途退学の主な理由) 公務員試験合格		
(中退防止・中退者支援のための取組) 所属長を交えたガイダンスや外部カウンセラーによるカウンセリング制度導入、民間の学費サポート制度紹介など		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ゲームクリエイター学科	160,000円	930,000円	140,000円	
情報システム学科	160,000円	930,000円	140,000円	
グラフィックデザイン学科	160,000円	1,060,000円	140,000円	
歯科衛生士学科	160,000円	670,000円	250,000円	
美容学科	160,000円	870,000円	270,000円	
パティシエ・ベーカリー学科	160,000円	990,000円	230,000円	
高度調理学科	160,000円	1,060,000円	420,000円	
こども・社会福祉学科	—	600,000円	300,000円	
こども保育学科	160,000円	690,000円	150,000円	
介護福祉学科	160,000円	900,000円	200,000円	
情報ビジネス学科	160,000円	970,000円	140,000円	
医療事務学科	160,000円	940,000円	130,000円	
マンガ・イラスト学科	160,000円	1,060,000円	140,000円	
ブライダル・ホテル学科	160,000円	990,000円	140,000円	
行政ビジネス学科	160,000円	990,000円	140,000円	
公務員学科	160,000円	990,000円	190,000円	
修学支援（任意記載事項）				
穴吹カレッジ特待生制度（納付金より最大100万円免除）				
高資格・検定取得者特待制度（納付金より最大100万円免除）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
http://www.anabuki-college.ac.jp/information/info.php		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
①関係者ならではの視点で具体的かつ実践的な評価を受ける		
②自己点検評価の適正化、妥当性を客観的に評価する		
③結果として、職業に必要な実践的かつ専門的な能力がより修得できる改善計画を立案し、PDCAサイクルを回し続ける		
委員は6名以上とし、次に掲げる者の内から校長が委嘱する。		
①保護者		
②卒業生		
③地域住民		
④企業関係者		
⑤高等学校関係者		
⑥その他教育に関する有識者		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
日本ヘアカラー協会徳島支部	R2.4.1～R3.3.31	企業等委員
有限会社ファースト美容院	R2.4.1～R3.3.31	企業等委員
株式会社CHAKRA	R2.4.1～R3.3.31	企業等委員

一般社団法人徳島新聞社	R2. 4. 1～R3. 3. 31	企業等委員
マインド mind inc.	R2. 4. 1～R3. 3. 31	企業等委員
徳島県洋菓子協会	R2. 4. 1～R3. 3. 31	企業等委員
株式会社ホテルグランドパレス	R2. 4. 1～R3. 3. 31	企業等委員
NPO法人繁盛店への道	R2. 4. 1～R3. 3. 31	企業等委員
一般社団法人徳島県情報産業協会	R2. 4. 1～R3. 3. 31	企業等委員
有限会社税経パートナー	R2. 4. 1～R3. 3. 31	企業等委員
株式会社穴吹カレッジサービス	R2. 4. 1～R3. 3. 31	企業等委員
一般社団法人徳島県歯科衛生士会	R2. 4. 1～R3. 3. 31	企業等委員
医療法人愛信会さむらデンタルクリニック	R2. 4. 1～R3. 3. 31	企業等委員
社会福祉法人日本保育協会	R2. 4. 1～R3. 3. 31	企業等委員
助任保育園	R2. 4. 1～R3. 3. 31	企業等委員
もとしろ認定こども園	R2. 4. 1～R3. 3. 31	企業等委員
医療法人はやし会	R2. 4. 1～R3. 3. 31	企業等委員
医療法人慈友会	R2. 4. 1～R3. 3. 31	企業等委員
	R2. 4. 1～R3. 3. 31	高等学校元校長
	R2. 4. 1～R3. 3. 31	保護者
	R2. 4. 1～R3. 3. 31	卒業生
	R2. 4. 1～R3. 3. 31	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.anabuki-college.ac.jp/information/info.php		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.anabuki-college.ac.jp/information/info.php
--